

科目名：キャリアブランディング		科目コード	GA26
科目主査：宮本 実果		単位	2
担当講師：宮本 実果		配当年次	1
授業の目的と概要	グループワーク： <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	個人ワーク： <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	
<p>本科目では、キャリア形成の新たな考え方として「キャリアブランディング」という概念を学びます。私たちが働く環境は、終身雇用の崩壊に始まり、パンデミックや災害の危機など、予測不能のことが多く、誰もが雇用やキャリア形成に不安を感じる時代となりました。今後は、「変化することがあたりまえ」という考えを持ち、個人の継続的なイノベーションと戦略的なキャリア形成が、求められると考えます。個人レベルのキャリアブランディングを学ぶことによって、人生100年時代の「求められ続ける人材」となることを期待します。</p>			
担当教員の 実務経験等	<p><b>[担当教員の実務経験]</b> 産業カウンセラーとして個人のカウンセリング、パーソナルブランディングを行うほか、企業の問題解決に伴う社員研修を多数実施。ビジネスパーソン「キャリアの悩みを解決すること」をテーマに活動している。</p> <p><b>[実務経験に基づく項目]</b> ビジネスシーンにおける人間関係とコミュニケーションについて、ビジネスシーンに重要な傾聴技法、個人戦略を考える、個人の問題から読み解く組織の課題解決 等</p>		
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名：	
履修の前提となる知識 その他特記事項	テキストに目を通しておいてください。		
テキスト	『仕事は人間関係が9割』宮本 実果, クロスメディア・パブリッシング(インプレス), 2016年 ※テキストはスクーリング受講許可者に配布します。		
この科目の 到達目標	<p>①キャリアブランディングの概念を個人ワークやディスカッションを通して理解し、イメージすることができる。</p> <p>②環境や自分のワークライフの変化を恐れず、求め続けられる人材になるための課題を明確にすることができる。</p>		
成績評価 の方法	授業態度や授業への参画度合い、個人課題への取り組み度合い、グループワークの参画度合い、事前課題などに対する取り組み度合いを評価対象とします。また、最終試験は、授業中に講義した内容のポイントや解説から出題します。客観式問題(30点)記述式問題(70点)、計100点。		
事後学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社外活動や勉強会を通して異業種のビジネスパーソンと積極的にコミュニケーションをとる。</li> <li>・本科目で学んだ自己分析や個人戦略を定期的の実施し、フィードバックの習慣をつけること。</li> </ul>		
事後学習の 参考文献	<p>『対話型組織開発』その理論的系譜と実践』ジャルヴァース・R・ブッシュ, ロバート・J・マーシャク, 英治出版, 2018年</p> <p>『組織の未来はエンゲージメントで決まる』新居 佳英, 松林 博文, 英治出版, 2018年</p> <p>『振り返り手帳術』伊藤 靖哉, 新泉社, 2018年</p>		
<p>スクーリング受講時に用意するもの</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>テキスト <input checked="" type="checkbox"/>筆記用具 ※オンライン実施の場合は、指定した資料をプリントアウトまたは、他デバイスで閲覧準備をすること。</p>			